

第二回 あさひ糖尿病川柳大会 入賞作品発表！

皆さま、ご応募・ご支援いただき、ありがとうございました！

優秀賞

(1作品)

青い輪に 未来を託す 我が願い

[ぞうきん様 男性・83歳]

佳作

(2作品)

A1c 下がれば気持ちも ええ安心！

[糖変木様 男性・58歳]

あさひ会 糖友健在 卒寿超え

[昭而様 男性・88歳]

審査員

特別賞

(2作品)

お弁当 糖尿食で 腕上がる

[M・K様 女性・47歳]

メタボ妻 あなたのためと 土産食べ

[あれから5年様 男性・57歳]

※今回の入賞作品はすべて当院の患者さんの応募作品でした。

【総評】 昨年に続く第2回として「あさひ糖尿病川柳大会」を実施しました。

院内での掲示や当院ホームページに加えて、糖尿病患者会「あさひ会」での告知等を行い、合計70件超の応募がありました。

いずれもレベルの高い作品ぞろいで、30歳代から80歳代まで幅広い年齢層の方から、日頃の糖尿病治療での苦心や、家族や医師などへの思いを、ユーモアたっぷりに、あるいは、しみじみと表現していたことが印象的でした。

今回も、優秀作1点、佳作2点を選定予定でしたが、「食」に関する作品2点を、審査員特別賞として追加で選定いたしました。

これからも多くの患者さんとともに糖尿病治療に向き合っていく医療機関として、コミュニケーションづくりの一環に役立ててまいりたいと思います。



第二回 あさひ糖尿病川柳大会 作品講評

優秀賞 「青い輪に 未来を託す 我が願い」

[ぞうきん様 男性・83歳]

11月14日「世界糖尿病デー」のシンボルマーク、ブルーサークルを「青い輪」と表現し、ご自身の未来と、日本や世界の糖尿病療養の未来をも見通す、格調高い作品です。

「青い輪」の「わ」と、「我が」の「わ」を掛けてあるところは、作者の技巧の高さを感じさせ、優秀賞にふさわしい作風となっています。

佳作 「A1c 下がれば気持ちも ええ安心！」

[糖変木様 男性・58歳]

「A1c」と「ええ安心」を掛けて五・七・五に読み込んだ軽快な作品です。通院治療日に、ご本人の努力が結果になって現れる「HbA1c」。投句した日は、診察の先生から「がんばりましたね。」とねぎらいの言葉を掛けていただいたのでしょうか。ホッとするとともに、心が軽くなった様子の楽しさが伺える作品です。

佳作 「あさひ会 糖友健在 卒寿超え」

[昭而様 男性・88歳]

「あさひ会」は当院の患者さんが糖尿病の克服を目的に自主運営されている会ですが、作品は、お互いに心の支えとなって治療に取り組んできた仲間への感謝と、米寿を超えて卒寿（90歳）を前にした作者が、生き生きと暮らしていこうとする決意が感じられる、力強い作品です。

審査員特別賞 「お弁当 糖尿食で 腕上がる」

[M・K様 女性・47歳]

糖尿病治療は「運動・食事・薬」の三者が一体となっています。作者は医師・栄養士の指導で、もしかしたら教育入院で食事の大切さを知ったのでしょうか。お弁当を食べた方からも、すごく褒められたのでしょうか。女性の優しさと暖かさが感じられる作品です。

審査員特別賞 「メタボ妻 あなたのためと 土産食べ」

[あれから5年様 男性・57歳]

家庭でのやりとりが眼に浮かび、つい笑ってしまう作品です。

これも内助の功の一つと解釈し、ご主人の糖尿病療養が進展するよう祈念します。